

# 岐阜市「ポストコロナの都市のあり方検討」有識者ヒアリング 学びを通じた協働と共創のまちづくり・防災

有識者  
提出資料②



**高木 朗義**  
 岐阜大学 社会システム経営学環 設置準備室 教授  
 工学部 社会基盤工学科 環境コース 教授  
 地域減災研究センター 副センター長  
 地域環境変動適応研究センター 副センター長  
 人工知能研究推進センター 教授  
 C o デザイン研究センター 教授  
 インフラマネジメント技術研究センター 教授







# プロフィール





- **名古屋市港区生まれ，57歳，妻・息子(大3)・娘(高2)**
  - 1982：愛知県立瑞陵高等学校卒業（杉原千畝の母校）
  - 1987～1999：建設コンサルタント勤務（12年半会社員）
  - 1992～1996：岐阜大学大学院社会人博士課程
  - 1999～現在：岐阜大学工学部講師→助教授→教授
  - 2003～2004：オーストリア国連関係研究所（40歳で海外留学）
  - 2008～2012：岐阜県地域都市政策監（4年間県庁職員兼務）
- 学位：博士(工学)「防災投資の便益評価手法に関する研究」
- 学会：国際総合防災学会理事，土木学会，日本自然災害学会等
- 受賞：国土技術開発賞「創意開発技術賞（国土交通大臣表彰）」等
- 著書：防災の経済分析，公共政策のための政策評価手法等
- 専門：まちづくり（都市地域計画，総合防災，政策評価）
- 目標：誰もが主体的に協働して，皆が幸せに暮らせる地域社会を創る
- モットー：自ら手を挙げて行動する人を応援する
- TV出演：世界一受けたい授業，二ノさん，めざせ！会社の星等

# ポストコロナとまちづくり・防災の現状認識

## 3密回避 = 集まることができない

-  外出機会が減少する
-  人との接触を避ける
-  イベントができない
-  コミュニティ活動ができない

## 集まらないで何かをしないといけない

-  集まることを前提とした活動を見直す必要がある  
(避難行動など)
-  集まることを前提とした規模の経済による効率化を見直し必要がある (公共交通など)

# まちづくり は ひとづくり

# 防災 も ひとつづくり

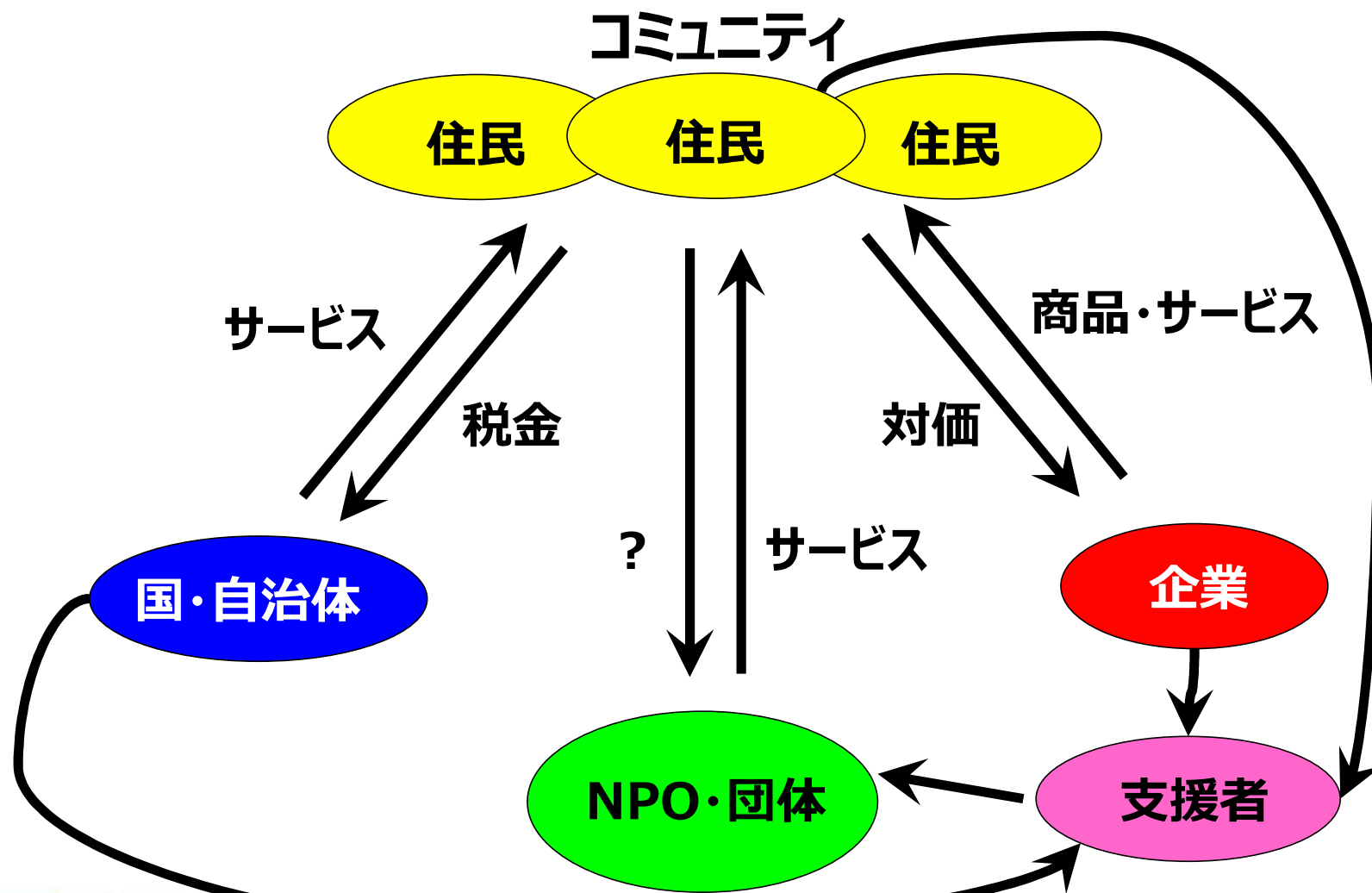
**Postコロナは勿論  
Withコロナでも  
学びを止めない**

**コロナの副産物として  
リモートの普及により  
時間帯や場所に制限なく  
一緒に学べる**

子供から大人まで  
どこでも誰とでも  
一緒に学びながら  
まちづくり・防災



# 行き過ぎた効率化による縦割り・隙間化問題



# 地域社会は、誰がつくるの？

🏈 かつて

👤 様々なことをコミュニティでやっていた。

🏈 いま

👤 多くことを行政がやっている。

🏈 一般的な住民の感情として

👤 税金を払っているのだから、行政がやって当たり前だろう。

👤 **でも、本当にそうか？**

## 地域社会は、誰のもの？

- 🏀 そもそも、要求に見合った税を納めているのか？（＝十分な税収があるのか？）
- 🏀 自分達でできることは、自分達でやるということが基本。
- 🏀 それができない場合に、税金というお金を支払って、行政にやってもらっているのである。
- 🏀 税収は限られている。その金でいろんなことが全部できるはずがない。

# そもそも地域社会の基本が自助・共助・公助



# まちづくり・防災に対する3つの態度

## 1. やる気がない。

●自分には関係ない。誰か（他者）がやってくれる。

## 2. やるつもり，でも，できない。

●やれない理由を並べる，やる方法を考えない。

●考えてばかりで，実行に移さない。

## 3. やってる，でも，役に立ってない。

●考えないで，これまでやっていたことを実施する。

●課題と行動がズれる。

# 手段の目的化 から脱出

# 1st Step



気付く




自分事化

## 2nd Step



まず & 小さく **動く**

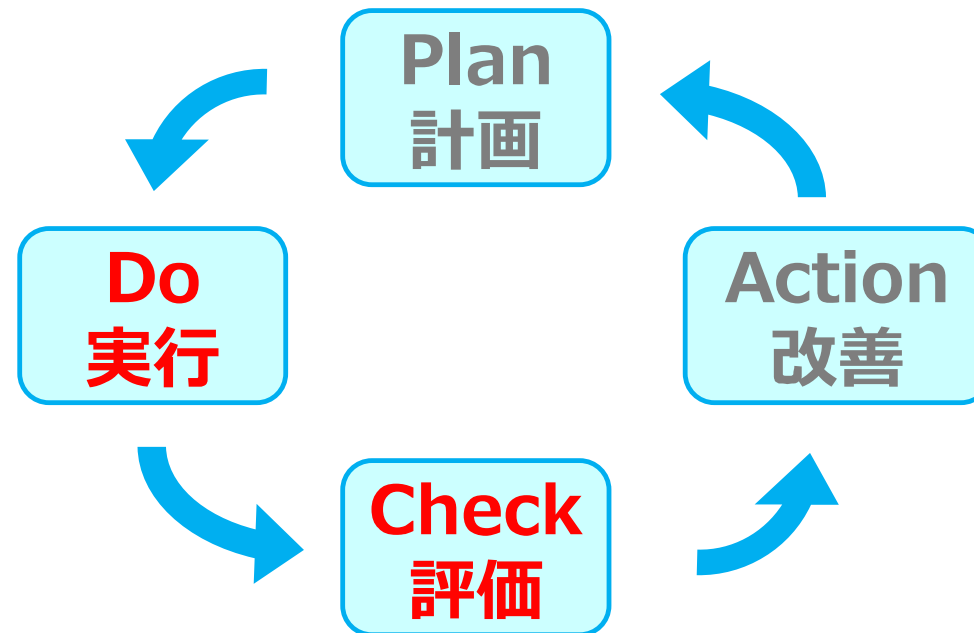



 **失敗を恐れない**  
(失敗でなく成功への過程である)

 **挑戦する文化の醸成**

## 3rd Step

 PDCAでなく, **CapDo**で行こう!



 **何が課題か？**

 **ちょっと試す**

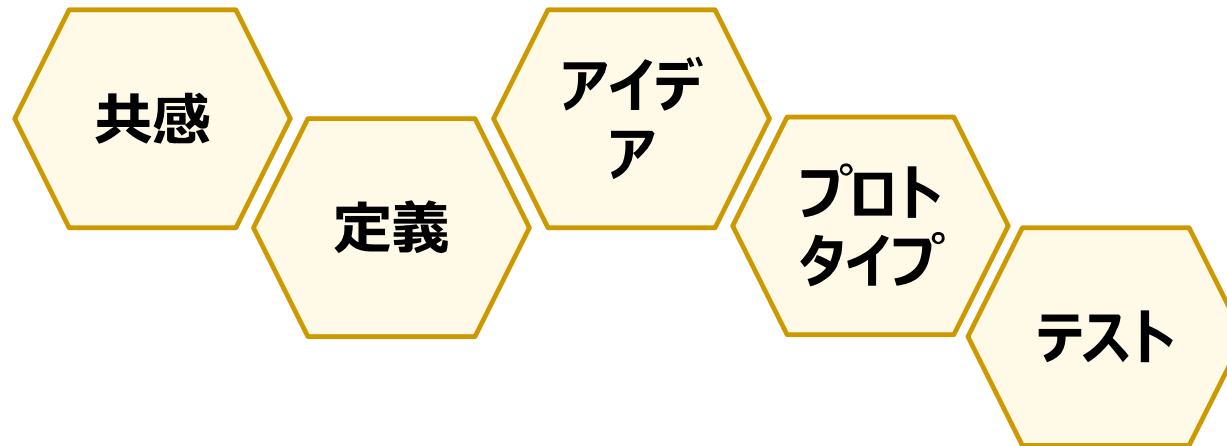
 **評価する**

# デザイン思考（スタンフォード式）

「デザイン」= 問題解決

「デザイン思考」= 問題解決の方法・考え方

プロセス：5つのステップを行きつ戻りつ進む



# 岐阜大学 社会システム経営学環

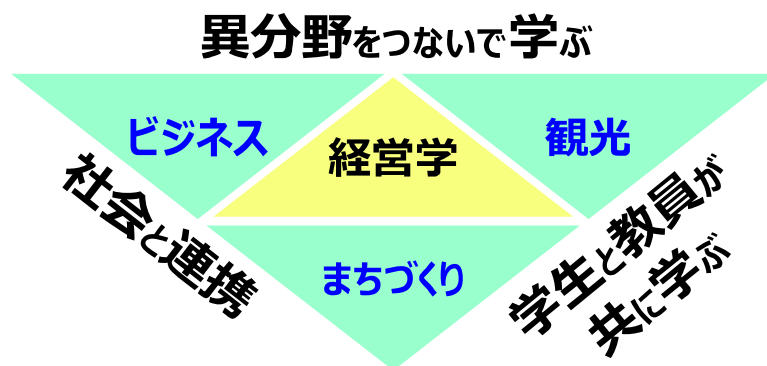


# 社会システム経営 + 学環

入学定員：30名  
学位：学士（経営学）

## 社会システム経営とは

- 社会システムは、個別の企業、自治体、各種団体が各々の判断で動く集合体ではなく、互いに影響し合う大きなシステム（系）と捉えた考え方
- 従来の経営学をコアとし、**ビジネス・まちづくり・観光**の3視点を加えたデザイン経営分野を包括する教育システム



➡ 経営にイノベーションをもたらし、豊かな社会の創造、活力ある社会システムの実現に貢献できる、実践的な能力を修得した人材の育成を目指します

## 学環とは

- 「学部等関係課程※」制度を活用
- 全学協働体制による人材、施設設備等の学内リソースを活用
- 関係協力学部（工学部・地域科学部・応用生物科学部）が有する教育研究における強みや特色、ノウハウを結集し、新たな関係の「環」により学問領域をつなげる。
- 学部等専門領域の既存の枠組みを超えて環状に結びつき、強固な教育研究基盤に基づく新しい教育課程を形成
- 教育や研究の場では、学生と教員、地域のステークホルダーが、それぞれの立場や環境を超えて目的を共有することで、大学と地域の人々をつなぐ関係の「環」が形成される。

※「当該大学に置かれる2以上の学部等との緊密な関係及び協力の下、当該2以上の学部等が有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて、横断的な分野に係る教育課程を実施する学部以外の基本組織」が設置可能という制度

# フィールドワーク重視の往還型学習

	講義科目	フィールドワーク
後期 3年次前期	アグリビジネス論 リスクマネジメント論 空間デザイン論 地域環境学 観光学 組織リーダー論 認知心理学	経営にイノベーションをもたらし、活力ある快適な社会の創造と地方創生の実現に貢献する人材 課題解決力 実習
	プロジェクトマネジメント論 サプライチェーンマネジメント論 都市形成史 景観デザイン デザイン思考論 地域デザイン論 組織行動論 経営戦略論	
後期 2年次	マーケティング論 オペレーションズリサーチ 技術表現法	主体的PBL型 フィールドワーク 継続的發展型 フィールドワーク ※複数学年の混在型授業 実践的能力 実習
前期	社会システム経営入門 観光・まちづくり編 経営組織論	
後期 1年次前期	社会システム経営入門 ビジネス編 企業論 コミュニケーションデザイン論	マネジメント活動実習 インターンシップ

フィールドワークを実施する対象企業・自治体の抱える課題について、企業や自治体と協働して解決策を探る過程に積極的に参画する。

社会システム経営学環  
地域協議会  
フィールドワーク計画立案への参画

フィールドの提供  
外部講師として指導

課題解決による成果還元  
多企業・多自治体への展開

地域との合同報告会

フィールドワークの成果を企業や自治体に還元するためには、単年度の実習ではなく、年度ごとの実習成果の積み重ねが重要である

地域  
企業

- ・自治体（岐阜県・岐阜市・飛騨市等）
- ・地域コミュニティ
- ・その他地域団体 他



- ・地元民間企業
- ・観光関連企業
- ・観光協会
- ・JA
- ・商工会議所
- ・その他民間企業 他







# ぎふ未来プロジェクト



あたらしい仲間と、あたらしい自分に出会おう。  
「やってみたい」をカタチにし、一歩を踏み出す4ヶ月。

10.19(土)  
13:00 ~ 18:00

4ヶ月をかけて取り組むプロジェクトです！10/19以降は、下記の日程に集まりプロジェクトを進めたり、発表を行います。

①2019/10/27(日) ②11/24(日) ③11/30(土)  
④12/08(日) ⑤12/14(土) ⑥2020/01/11(土)  
⑦01/18(土) ⑧01/26(日)

※②④⑥⑧は参加必須。時間はいずれも13:30~17:30を予定。

@ 岐阜市中央青少年会館

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町11

アクセス

岐阜バス「市庁前西口」下車約1分  
JR岐阜駅より：バス18番乗り場もしくは11番乗り場から  
名鉄岐阜駅より：バス5番乗り場から  
※バス乗車時間は約7分、18分に1本校車の発車（目安）

参加費 無料

対象 岐阜市内在住・在学の  
中学生または高校生

主催：岐阜市  
運営：認定特定非営利活動法人カタリバ KATARIBA

募集締め切り  
9/30(月)



ぎふ未来☆プロジェクトとは？

仲間とともに、自分の「やってみたい」にふみだそう！

「途中でできることがない」「やりたいことがわからない」  
そんな今から、ちょっと変わるかもしれない4ヶ月。

サポート役の大学生、新しい仲間とともに岐阜市を舞台にプロジェクトを実践。  
プロジェクトをやり遂げた時、今より好きな自分にきっと出会えるはず。

あなた「だからこそ」できることが、必ずある。  
さあ、一歩踏み出そう！



ぎふ未来☆プロジェクトの流れ

1 プランニングワークショップ | 10/19 ±



参加者同士や先輩の大学生と  
対話しながら、岐阜市を  
フィールドにしたプロジェクト  
のテーマを考えてみよう。  
自分の好きなことが出発点！

2 アクション | 全7回を予定



実際にまちの人と関わります！  
最終発表までに、大学生  
の先輩に相談しながら、プロ  
ジェクトを進められるので安  
心してください！

①2019/10/27(日) ②11/24(日) ③11/30(土) ④12/08(日) ⑤12/14(土)  
⑥2020/01/11(土) ⑦01/18(土)

※②④⑥は参加必須。時間はいずれも13:30~17:30を予定。

3 最終発表 | 1/26日



それぞれが取り組んできたプロ  
ジェクトを、大学生やお世  
話になった大人に発表しよう。  
過程をまとめてみると、  
自分の成長に気づけるはず。

はじめ方はふたつ！

A テーマプロジェクト



1. 街々商店街をPRする  
フリーペーパーを作ろう！  
観光客が多く訪れる、街々商店街をよ  
う魅力的にするフリーペーパーをつ  
くらう。そして、作成した冊子は実際に  
商店街で配布しよう！

2. まち歩きツアー企画

※川原町古い町並み  
シトロは周辺が人気の川原町。人々を  
もてなす町歩きツアーを実施してみよう！

B マイプロジェクト



自分自身の興味・関心を出発点に、街  
内各所のフィールドで何ができるかを  
自らの力で考えよう。大学生や大人の  
力を借りてプロジェクトを計画し、大  
人を巻き込んでみる。最終発表に向け  
て、プロジェクトに思い込んでいこう。

※Bはテーマを設定して取り組むか、10/19  
の予定表に載っているマイプロジェクトに思い当たるものがあっても可

先輩の事例

高校生による情報モラルワークショップ

岐阜県立岐阜総合学園高等学校2年生(当時)



高校生が情報モラルを楽しく学んでもらう活動をつくり、東  
部に中学生に学んでもらう活動も行なった。そのなかで、岐阜県  
立総合学園の高校生が情報モラルを楽しく学んでもらうた  
めの「高校生向け情報モラルワークショップ」を開催し、ワークショッ  
プを開いた。また、岐阜県立総合学園で情報モラルワークショップを  
行う。この活動を通じて、いかに楽しく、どの程度まで活動  
できるかを考える大人と高校生。人と人とつながることで、  
いかに活動を進めていくかを考える活動を通じて、



申し込みはこちらから！ 9/30(月)

WEB 左記のQRコードもしくは下記の手続きからお申し込みください。  
<http://myprojects.jp/startupcamp/11413/>

郵送 氏名・住所・学年・電話番号を明記し、岐阜市中央青少年会館  
(〒500-8813 岐阜市明徳町11)まで郵送ください。

運営体制  
主催 岐阜市 運営 認定特定非営利活動法人カタリバ

お問い合わせ  
Mail chubu-mypro@katariba.net  
TEL 05-527-5667  
認定 NPO 法人カタリバ マイプロジェクト事務局

# 住民自治・まちづくり

## 岐阜市住民自治基本条例

<https://www.city.gifu.lg.jp/34941.htm>

## 岐阜市協働のまちづくり

<https://www.city.gifu.lg.jp/16320.htm>

岐阜市住民自治基本条例

“協働”で創る  
みんなのまち・岐阜



# 岐阜市協働のまちづくり 推進計画2018-2022 概要版



**明日の住民自治像**  
市民がまちづくりの主権者である  
協働社会の実現

## 目指す協働社会の姿

誰もが生きがいを持ち、  
まちづくりに参画できる協働社会

まちを愛する人々が磨き上げる、  
個性と魅力にあふれた協働社会

多様なまちづくり活動が展開される、  
生活満足度の高い協働社会




対等の立場で、  
お互いを尊重し合う協働社会

お互いの持つ力や特性を生かし、  
新たな価値を生み出す協働社会







# まちづくりへの市民参画について

## 住民側

-  住民自治について、家庭内で学ぶ機会がなくなった今、学校教育の中で、学ぶ機会を設ける必要があるのでは？
-  **中学生がまち協メンバーとして役割を担う**ことで、地域社会の一員として貢献しながら学び、住民自治への理解も深まり、将来を担う人材となるのでは？
-  子供の活動を通じて親世代にも関わってもらっては？

## まちづくり協議会・自治会側

-  自治会加入のメリットを示す必要があるのではないか？
-  住民の参加方法（役割分担・部分参加）の見直し
-  地域企業のまち協への参画促進
-  組織運営（地域経営）の研修と実践の更なる促進

# ぎふまちづくりTTP大賞

ぎふまちづくりTTP大賞

https://www1.gifu-u.ac.jp/~a\_takagi/machidukuri\_kaizen.htm

## ぎふまちづくりTTP大賞

(旧ぎふまちづくり「改善」大賞)

“ぎふまちづくりTTP大賞”とは、岐阜で真似したいまちづくりの仕組みや工夫を勝手に表彰するものです。

※TTPとは「てっていきにくる」の略で、いいことをマネするという意味です。

表彰された事例は、誰でも真似して大丈夫。真似した後の改善事例も改めて今後の表彰対象にします。

**TTPで自分たちの住むまちを良くしていきましょう。**



ぎふまちづくり  
TTP大賞2020

1. ぎふまちづくりTTP大賞とは、岐阜で真似したいまちづくりの仕組みや工夫を勝手に表彰するものです。真似した後の改善事例も改めて今後の表彰対象にします。

2. TTPとは「てっていきにくる」の略で、いいことをマネするという意味です。

3. 表彰された事例は、誰でも真似して大丈夫。真似した後の改善事例も改めて今後の表彰対象にします。

応募方法と選考方法

項目	内容
対象期間	2020年10月1日～2021年3月31日
応募対象	岐阜県内・岐阜市・岐阜県民
応募方法	インターネット
応募資格	個人・法人
応募料	なし
応募回数	なし
応募場所	インターネット
応募時期	2020年10月1日～2021年3月31日

表彰方法と選考方法

- 表彰対象は、岐阜県内・岐阜市・岐阜県民で、岐阜で真似したいまちづくりの仕組みや工夫を勝手に表彰するものです。真似した後の改善事例も改めて今後の表彰対象にします。
- 応募期間は、2020年10月1日～2021年3月31日です。
- 応募方法は、インターネットです。
- 応募資格は、個人・法人です。
- 応募料は、ありません。
- 応募回数は、ありません。
- 応募場所は、インターネットです。
- 応募時期は、2020年10月1日～2021年3月31日です。

主催：岐阜大学TTP大賞実行委員会  
協賛：岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、岐阜県民生活センター、岐阜県民生活センター、岐阜県民生活センター



ぎふまちづくり  
TTP大賞2020  
のご紹介

写真：2019年「ぎふまちづくり「改善」大賞」表彰式

右上の画像をクリックするとYoutubeによる紹介動画がスタートします。

ぎふまちづくりTTP大賞2020の子ラシ（PDF版は[コチラ](#)から）


# T T P

## 徹底的にパクる





# 何をしようとしているのか？


## 現状

-  住民組織や市民団体には、多くの共通課題が存在するが、それぞれで苦勞している。

## 課題

-  他の組織や団体の工夫を知らない？
-  情報共有の場がない？

## 目的

-  まちづくりの改善方法を広く周知することで、他の組織や団体が真似して実践できるようにする。

# そもそも 「本屋大賞」

# T T P



## 1 募集

自治会やまちづくり協議会など地域を核とする団体や、NPOや研究会など分野や目的でつながる団体に、真似できそうなことを募ります。

## 2 ポスター製作

各団体のTTP(「てっていき」)が期待される部分を中心にポスターで表現します。



## 3 公開投票

真似したい団体の取り組みに、TTPしたいかを基準とした投票を行います。

## 4 交流会・授賞式

参加団体と一般参加者が取り組み内容について自由に話ができる交流会と、授賞式を行います。



参加いただいた団体の取り組みは、多くの方に広くTTPしていただけるよう、ホームページやSNS、リーフレットなどに掲載するほか、各種マスコミにおける宣伝等で情報発信していきます。

協賛：一般社団法人 Do It Yourself

### 問合せ

ぎふまちづくりTTP大賞実行委員会 (旧、ぎふまちづくり協議会) 企画実行委員会

TEL.058-293-2445 (担当/岐阜大学教授 基本明義)

E-mail/celp-machi@gifu-u.ac.jp

# ぎふまちづくり TTP大賞

(旧「ぎふまちづくり協議会」大賞)



ぎふまちづくりTTP大賞

(旧、ぎふまちづくり「改善」大賞)は、

岐阜で真似したいまちづくりの

仕組みや工夫を勝手に表彰するものです。

表彰された事例は、誰でも真似して大丈夫。

いい事例を積極的に真似していきましょう。

※TTPとは「てっていき」の略で、いいことをマネするという意味です。

協賛：岐阜市市民活動支援事業 採択事業

## 地縁 コミュニティ 部門

# 表彰される部門は2つ! 2018年度は7団体が受賞。

## 目的 コミュニティ 部門

### まちづくり「改善」大賞 芥見東まちづくり協議会



真似したいポイント

### 継続を目指して “有償”事業に挑戦!

芥見東まちづくり協議会は、地域で行ってきた事業の資料整理が捗るが新しい考え、市街がビジネスによる地域発展の解決を目指す「コミュニティビジネス」への挑戦を決意。すでに実施している地域を視察し、住民の中で支障を求めました。

重点を置いたのは、分かりやすいイベントで地域を活性化すること、誰でも集まれる場所を作ること。そこで、毎月第2土曜日のワンコインコンサートや、2区2回の健康講座会など500円程度で参加できるイベントを開催したり、空き家を生かして園芸や福祉、子ども未来園等を行う「みどりっこハウス」を始めるなど、多彩な企画を実施しました。取り組みを続けることで、住民や企業の協力者も徐々に増えています。



ファイオリンとテアロ

### 若い世代の発想で 地域を活性化!

“ひとりの会”は、今の取り組みに関するアンケート調査を実施し、「駐車場料金が安い」という課題解決に向け、学生たちと解決策を模索。その結果、「駐車場料金を払ってでも、この人に会いたい」というファン心理に着目し、ご当地キャブ「やなな」の導入や、埋蔵品内の黄金スポットをつなぐ「黄金プロジェクト」、地元の手芸家や商店を巻き込んだ「1万円販売促進コンテスト」などを次々と企画しました。事業は、すべて若者のアイデアを積極的に採り出し、高校生がTV局へ動画を投稿したり、学生が制作した「Vチューバー」にストーリービューで動画を案内させるなど、若者が活躍できるプロセスを導入。「彼でもまちづくりに挑戦できる」という気風を定めています。



### まちづくり「改善」大賞 ひとひとの会



真似したいポイント

若者の言葉が企業とのリンクになるほど、企業が関わりやすい場や仕組みを実現している点は、ぜひ真似してほしいです!

### まちづくり「改善」賞 合渡まちづくり協議会

#### 地域団体の協力強化で 行事を継続

合渡地域の伝統的行事「いこい中山道河津渡り祭り」は、若者や高齢者が減少する一方で担い手が高齢化し、継続の危機にありました。そこで、まちづくり協議会が中心となって地域団体の意見交換を行い、協力を強化。その結果、住民が高齢の小さな規模行事に切り替え、参加する地域団体や企業も4団体に増えることになりました。さらに、若手の担い手として子育て世代で構成された「おやぢの会」に参加してもらい、運営ノウハウを継承、活動を段階的に発展させたことで、まちづくり協議会の認知度も高くなり、住民の協力や賛同も得やすくなっています。



真似したいポイント

運営組織に「子育て世代の父親」が入ってほしい。運営ノウハウを継承している点に注目です!

### まちづくり「改善」賞 本荘まちづくり協議会

#### 地元団体の協力を 生かして課題を解決

本荘まちづくり協議会は、地域の事業運営には各種団体の協力を生かすことが大切と考え、各団体の会費や返金に目を遣って協力を促進。協議会がコーディネート役となって、飲食の機会などで住民が集まる「おれあい」や「おれあいサロン」を開催しています。サロンの参加費には、民間企業と共同で高齢者の見守り用QRコードを付け、見守り札として提供する仕組みを導入。また自然災害に異動された母を支援し、自治会に加入していない人も参加できる食事会など、顕微鏡になる機会を創出し、高齢化する住民が安心して暮らせる地域を構築しています。



真似したいポイント

事業の内容に応じて選んだ団体や人物に声をかけ、コーディネートに専念している点が重要だと感じます!

### まちづくり「改善」賞 NPO法人グッドライフサポートセンター

#### 時代に即した子育てと 介護の課題に着目

マザーズ内の高齢者グループ「はっぴー広場」や、0-2歳児とママの子育てスペース「あなたん」、中学生が乳幼児とふれあう「乳幼児ふれあい学習」など、子育てや介護のニーズに応えるさまざまな事業を展開。行政への政策提言なども行い、地域・企業・行政の協力体制を確立しています。

一層の協力は、自分ができることである時間を生かして貢献する、約800人のボランティア、行政の負担が大きい課題をサポートしながら、関わる人のやりがいを生むという、理想的なサイクルが実現しています。



真似したいポイント

事業の内容に応じて選んだ団体や人物に声をかけ、コーディネートに専念している点が重要だと感じます!

### まちづくり「改善」賞 ヒトノ数放課後クラブ

#### 地域資源を生かし、 子どもの遊び場を提供

若く女性が育ち、子どもの成長にプラスとなる放課後の遊び場を提供。アクティブラーニング型の「学びの場」を提供。民間の仲間とともに、インターネットを連ねたクラウドファンディングで資金を募りました。

アクティブラーニングでは、地域の高齢者の特技を活かした講座や、地元商店の店主によるキャリア教育など、連携関係に構築してもらい、地域が管理する自治公民館を活用するなど、地域の支援を得ることで、事業コストを軽減し、住民の理解を得ることができました。



真似したいポイント

ネットを通じて詳細な調査と資金調達を行い、地域資源である自治公民館で活動する体制を確立した点が重要になります!

### まちづくり「改善」賞 ぎふマープルタウン実行委員会

#### 他県の先進的な事例を 地域で実践

岐阜大学の学生を中心に、他県で実践されていた、子どもが気軽にまちづくりを体験するというキャリア教育イベントの地元開催を模索。大学や大学教員、地域の運動団体などの共助を得て、ドリームシスターで「ぎふマープルタウン」を実現しました。開催時には、性別平等教育の子どもも参加しています。

若手を取り組むことで、子どもたちの主体性を鍛え、卒業後が高まり、口コソで参加者が増加。保護者層の拡大も実現し、親子に寄り添えるイベントとして盛り上がりを見せています。



真似したいポイント

真似したい取り組みのノウハウをスタッフが吸収して実践し、地元ならではの改善を加えている点が重要です!

# まちづくりの部門は2つ! 2019年度は6団体が受賞。

地縁  
コミュニティ  
部門

目的  
コミュニティ  
部門

地域に根付いてまちづくり活動を行う団体が対象の「地縁コミュニティ部門」と、  
得意な分野や専門的な視点でまちづくりを支える団体が対象の「目的コミュニティ部門」があり、  
それぞれ公開選考で、大賞が決まります。

## まちづくり「改善」大賞2019 本郷まちづくり協議会



## 地域資源の有効活用と地域役員の 世代交代による活動の一新

①けやき祭り、②市民文化祭、運動会、③生涯学習などを通して、地域資源を活用しながら、地域課題に楽しく取り組んでいます。参加する若い世代が少なく、まちづくり協議会の役割の高齢化が進むため、活動の持続性が課題でした。そんな中、地域役員の世代交代による活動方向の一新が実現しています。

けやき通りの落ち葉の清掃が面倒かというという困り事に目を発して、「けやき祭り」として、①けやきの落ち葉を集めると回収ができる、②各種イベント、③出店「地域店舗」、各種団体に声掛けを実施しています。結果、活動への前向きに協力してくれる人が増加して、子どもたちを中心に、今までは無関心だった地域の落ち葉清掃を自発的とするようになりました。



## 公益性を求められる市民活動支援事業として発信や交流を積み重ね、協力や寄付を安定的に獲得

学生や若い世代に協元の歴史を知ってもらい、協元の誇りとして保存・継承する。そのための研究と情報発信に取り組んでいます。研究内容を市民にPRし、協元の誇りにつなげる活動として、市民活動支援事業に採択された事が転機となっています。

資料によるPR(リーフレットやマップ)、会報、冊子発行、SNSやホームページでの発信)に、活動によるPR(学生と協元を共創、ふるさと博覧、作品展、大学生と協元があるき、武蔵野活動、事業者寄付による養老院)に取り組んだことで、市民の連携や学校での発信機会、イベント運営への学生の参画、地域の事業者の寄付を安定的に獲得するまでになっています。



## まちづくり「改善」大賞2019 黒野城と加藤貞泰公研究会



## まちづくり「改善」大賞2019 京まちづくりの会

### 地区外に移り住んだ若い世帯も関わりやすい「みこし」や「まつり」で関係人口増加

①ふれあい広場、②祭り・高野町、③京まち歴史散歩の資料の発行、④若者との交流に取り組んでいます。事業者の減少で集客力が少なくなり、集客や子育てのために若者が流出しています。そんな中、伝統文化を活かした課題のきっかけづくりができています。具体的には、①地区の伝統文化に関する冊子作成、②ブログやチラシによる地域のイベントや伝統行事の情報発信、③地区内の若者と連携した若い世代を中心に道行、④子ども達の頃から積極的に地域イベントや伝統行事に参加する機会の確保です。地域に資源意識を持つ人が増え、若い世代の協力を得ています。



ここをTTTP

ブログやチラシによる地域イベントや伝統行事の情報発信で、「まつり」のようなきっかけで帰ってきやすい地区に!

## まちづくり「改善」大賞2019 鏡島まちづくり協議会

### 地区内の若い世代の育成と地域を支える学校とのふれあい

①あぶたづくり、②あぶたげ大会、③和太鼓教室、④祭りなど伝統文化を軸に地域活動に取り組んでいます。活動の若い世代の減少や、若い世代との関わりが少ないといった課題があります。

そこで、卒業を通して教育用、地区内の小中高校との交流機会を設け、住居と児童・生徒とのふれあいの機会を創出して、具体的には、あぶたげ大会に向けた「あぶたづくりや和太鼓教室、道徳や清掃活動、マルシェなどがあり、離れ合う機会が多くなることで、親世代、子世代ともに地域で居るわかる関係や絆が醸成されています。



ここをTTTP

地区内の学校と一緒に活動する機会が豊富になっており、お互いが身近になることで協力を得やすくなる!

## まちづくり「改善」大賞2019 NPO法人 クロロバ!

### 多様な選択肢を提案するため、対象者の悩みや希望を把握するネットワークを構築

自分のライフスタイルや希望にあった働き方を見つけられるように、参加型のイベントや講座、支援事業に取り組んでいます。多様な選択肢を提案するには、対象者(主婦・ママ)の悩みや希望の把握が必要で、そこで、①登録会員を呼び、メールマガジンなどを配信、②マザーズネットワークを構築(総数中心に約4,000人)、③主婦・ママのニーズや悩みを情報収集、④ニーズや悩みを踏まえ、多様な選択肢を提案(実際に体験できる講座)、⑤SNSなど新しい方法を取り入れつつ、メール配信も継続しています。さまざまな思いに対応し、悩みに寄り添う支援をしています。



ここをTTTP

対象者の悩みや希望を把握できるネットワークを構築しているからこそ、本当に必要とされる選択肢を提案できる!

## まちづくり「改善」大賞2019 NPO法人 人と動物の共生センター

### 社会に良さそうなことをするのではなく、社会に変化をもたらすことを表現して、支援や協力を得る

事例大賞選考の解決に向け、①道正教育、②野外犬訓練、③ペット防災、④ペット産業でPR、⑤ペット検定に取り組んでいます。しかし課題が発生し続けるため、対応するだけでは問題解決(社会の変化)には足りません。そこで、①活動や事業でどんな社会を構築するか、②どうしたらそんな社会を構築できるか、③そのために活動や事業で実現したい成果、④そのための活動や事業、⑤そのための資源(あるものも獲得したいもの)を見える化しました。これにより、賛助会員の増加や、スタッフ間の相互理解、資源配分が改善しました。



ここをTTTP

どのような社会変化を目指すかをスタッフ同士や会員の意見交換でみえる化して、支援や協力の獲得が明確に!

# 大募集！ ぎふまちづくり TTP大賞2020



「ぎふまちづくりTTP大賞」とは、岐阜で真似したいまちづくりの仕組みや工夫を勝手に表彰するものです。表彰された事例は、誰でも真似して大丈夫とし、真似して自分たちの住むまちを良くすることを促進するものです。

※TTPとは「徹底的にパクる」の略で、いいことを真似するという意味です。  
 ※表彰対象団体は、区・自治会・町内会、NPO・任意団体などです。

## 応募方法と選考方法

<b>募集開始</b>	令和2年10月1日	<b>エントリー</b> 団体名・担当者名・E-mailアドレスを事務局へご連絡ください。
<b>エントリー締切</b>	11月30日	<b>ポスター送付</b> ポスター（「ぎふまちづくりTTP大賞」ホームページ掲載の様式指定）を作成し、事務局へご送付ください。
<b>ポスター送付締切</b>	12月18日	
<b>インターネット投票</b>	令和3年1月 ～2月初旬	<b>選考方法</b> ご応募いただいたポスターをWeb上に掲載してインターネット投票を実施。その結果を参考に、実行委員会が表彰者を選考します。
<b>表彰者の発表</b>	2月21日	

## 過年度の表彰事例

- ✓ 地域のお祭りの担い手を若手や地元事業者に変更するなど、まちづくり活動に住民だけでなく事業者・NPO法人等と一緒に参画した事例。
- ✓ イベントなどを創意工夫し改善したことで、参加者にまちづくり活動への興味を高めたり、問題解決につながった事例。
- ✓ 地域の行事や事業の棚卸しや見直し等を行い、なぜ行っているかを再確認するとともに、持続性を向上した事例。
- ✓ 変化し続けている社会環境に対する仕組みの改善や、自治組織だけでは対応が難しい課題に取り組むなど、小規模多機能自治を感じさせる役割へ発展した事例。

※ 詳細はリーフレットおよびホームページ[https://www1.gifu-u.ac.jp/~a\\_takagi](https://www1.gifu-u.ac.jp/~a_takagi)参照。



# ソーシャル・ビジネス

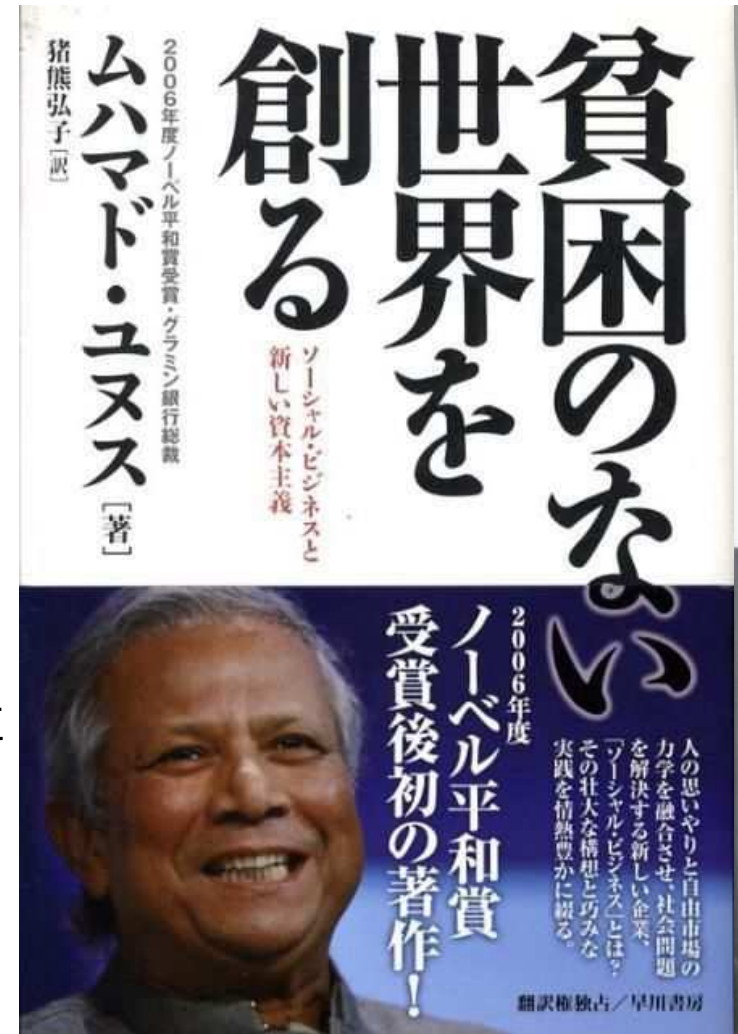
## 🏆 ソーシャル・ビジネス 7原則

1. 経営目的は、人々や社会問題の解決
2. 持続可能な社会の実現
3. 投資額のみ回収
4. 利益は社会還元
5. 環境への配慮
6. 従業員に標準以上の労働条件提供
7. 楽しみながら取組む

※Wikipediaを修正

## 🏆 ムハマド・ユヌス

- グラミン銀行（小さな融資）の創設者
- ノーベル平和賞（2006年）



# 社会起業家（ソーシャル・アントレプレナー）

敬称略，写真はfacebookより



猪鹿庁／興膳健太／  
獣害対策



石徹白地域協議会／  
平野彰秀／  
地域づくり，小水力発電



NPOふうめらん／  
北村隆幸／  
まちづくり，フリーペーパー



ORGAN／蒲勇介／  
長良川IDMO



OKa-Biz・G-net  
／秋元祥治／  
中小企業支援



郡上エネルギー・  
郡上割り箸／  
小森胤樹／  
森林活用，地域  
づくり



# 小学2年生の社会起業家



# 社会課題解決 = S D G s

社会課題解決中MAP

SDGs取組中MAP

01 やり直しづらい日本社会  
**直**

02 先進国なのに高い相対的貧困率  
**貧**

03 日本でも起きている食料問題  
**糧**

04 日本が超高齢化  
**歯**

20 日本中に眠る未利用資源  
**資**

21 老朽化が進むインフラ  
**朽**

22 自然災害大国日本  
**火**

23 見直したいローカル経済  
**地**

大学機構

GIFU UNIVERSITY

Social Impact for 2020 and beyond:  
<https://2020.etic.or.jp/>

GIFU UNIVERSITY 42

# SDGs : 誰一人も取り残さない

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



# オープン・ソーシャル・イノベーション

## 協働と共創

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



# トヨタ「プロボノ」導入 外部派遣で「内向き」打破

## ニーズ捉える技術者に

トヨタ自動車は、ボランティア的に他企業を支援する「プロボノ」を導入し、先進領域の技術者を中心に外部に派遣するのは、専門分野に偏りがちな視野や関心を外に向けさせるためだ。自動運転や新規の移動サービスの高さが鍵を握る。文化の違う中小企業に身を置くことで人間的な成長を促し、次世代分野を担う多角的な人材の強化を急ぐ。

(鈴木龍司、曾布川剛)

### トヨタ「プロボノ」導入

プロボノを取り入れる先進技術開発カンパニーは、自動運転分野など将来の収益を左右する領域を手掛け、高度な技術を持つエンジニアが多く在籍している。

豊田章男社長は過去に、技術部門の風土について「会話を通じない」と指摘したこともあった。内向きの傾向が強い組織を「白い巨塔」と例えるなど、意識改革を求めている。

こうした発言の背景には、自動車会社の役割の変化がある。豊田氏は「これからの車は町やあらゆるサービスとつながる。社会システムの一部として、暮らしをより豊かにすることが期待されている」と強調してきた。ただ、専門的な知識と技術を備えていても、開発の方向性が社会のニーズとずれていれば、世の中

## 外部派遣で「内向き」打破

から必要とされる会社にはなれないという強い危機感がある。

プロボノは通常、自身のスキルを生かせる職場を選ぶが、トヨタはあえて業種を限定せず、新型コロナウイルスで打撃を受けている企業を支援する。これまでの経験が通用しない派遣先で、自ら事業所の困り事を見つけ、貢献する方法を考える力を身に付ける。

トヨタはプロボノ以外にも、今年から将来の幹部候補社員を、異業種を中心としたベンチャー企業などに派遣させる制度を導入。外部の環境に身を置き、人間性や実行力を磨く取り組みを進めている。

豊田氏は今月、本紙のインタビューで人事制度について「世の中が変わっている以上、未来永劫、変わらない組織というのはない」と語っており、今後も外部との連携も含め、前例にとられない改革が続くとみられる。

# トヨタがプロボノ研修 外部の経験で人材育成

## 中小を無償で業務支援

## トヨタがプロボノ研修

## 外部の経験で人材育成

トヨタ自動車は、ほかの事業所や団体の仕事を無償で手伝う「プロボノ」を研修制度として導入することを決めた。自動運転や移動に関する新規事業の開発を担う若手の技術者らを、新型コロナウイルスで打撃を

受けている東海3県の中小企業などに派遣する。地域貢献に加え、社員に外部での経験を積ませることで視野を広げ、社会の課題やニーズに敏感に対応できる人材を育成する。＝関連⑨面  
トヨタでは希望者が上司



プロボノ 本業で培った専門知識や技術を生かして社会に貢献する活動。「公共のために」を意味するラテン語で、欧米などで活発。国内でも近年、やりがいや多様な経験を求める若者を中心に広がっている。受け入れ側はスキルの高い人材を無償で活用できる利点がある。

の許可を取って兼業などをするケースはあるが、プロボノを制度化するのは初めて。移動サービス全般を提供する「モビリティカンパニー」への変革に向け、社会の課題を吸い上げて新規事業につなげるために

は、プロボノを通じて外部の視点を取り入れることが必要だと判断した。

新制度は先進技術開発カンパニーの研修として導入し、外部との交流が少ない技術者や事務系の20～30代を対象とする。今年は社内公募で10～15人を選抜し、10月以降の3カ月間、本業との掛け持ちで仕事を手伝う。派遣先の選定では、多様な働き方を支援しているNPO法人「G-net」（岐阜市）と連携。業種を問わずにコロナの影響を受ける地場産業など5カ所程度を選び、人材育成と社会

貢献を並行して進める。

参加者は週に8時間前後、事業所に出掛けたり、ネット会議システムを使ったりして、日常の業務を支援する。その時間もトヨタでの勤務時間として扱う。来年以降、同様の研修制度をトヨタグループに広げ、対象人数や派遣先を拡大することも検討している。

G-netによると、プロボノの支援先はNPOや市民団体が多く、トヨタのように地場産業の企業などに派遣する例は珍しい。大企業が研修制度として導入するのも先進的という。

# ふるさとと兼業（兼業・副業・プロボノ）

愛する地域と共感する事業で遊ぶプロジェクト型兼業・プロボノ/web > 研修先をお探しの企業様へ > 掲載をご希望の企業様へ > 連携をご希望の自治体様へ

**ふるさと兼業**  
FURUSATO-KENGYO

**PROJECT**  
プロジェクトを探す

**EVENT**  
イベントを探す

**CONCEPT**  
コンセプト

**TORISETSU**  
働き方の提案

**TRY**  
お試しプログラム

**FAQ**  
よくある質問

はじまる  
熱意から、  
共感と

応援したくなる、挑戦したくなる  
兼業マッチング「ふるさと兼業」

兼業プロジェクトを  
探す

PROJECT SEARCH

THEME

🔍 テーマで探す

📁

🔍 職種で探す

交流人口 < 関係人口 < 移住人口



# 市の政策課題を解決する


## オープン・ソーシャル・イノベーション／協働と共創

 副業・兼業・プロボノ

 関係人口

 アイデアソン・ハッカソン

 PPP/PFI

 これまでは、岐阜市在住の市民中心だったが、これからは、リモートも活用して、民間企業や市外の人を巻き込むことができる。

# 岐阜みらいカレッジ 社会人のチャレンジ支援

Zoom ミーティング

レコーディングしています...

ミュート ビデオの停止 セキュリティ 参加者 22 投票 チャット 画面の共有 レコーディングを一時停止/停止 字幕 反応 詳細 終了

参加予定13人・興味あり299人

チケットの販売をトラッキングする  
チケットにリンクを追加して、イベントチケットの購入やイベントへの登録を簡単にしよう。  
[チケットリンクを追加](#)

# 岐阜みらいカレッジ 高校生の探究学習支援



岐阜みらいカレッジ  
@gifu.mirai.college

ホーム

投稿

レビュー

動画

写真

ページ情報

コミュニティ

グループ

イベント

広告を出す

広告センターへ移動



いいね! 済み フォロー中 シェア

+ ボタンを追加

作成 ライブ イベント クーポン 仕事



投稿を作成...

写真・動画 問い合わせ... 気分・アク...



岐阜みらいカレッジ

作成者: 高木 朗義 | 5月9日

「岐阜みらいカレッジ」とは、オープンイノベーションによる地域社会の課題解決を目指した学びの場です。やる気がある、でもモヤモヤしている社会人(公務員と民間人)が、組織を超えて共に学び合うことを通して、身近な問題や隙間の課題を解決するための創発を目指しています。

令和元年5月から、定期・不定期に、学習会や交流会を開催していきます。

代表者: 高木朗義 (岐阜大学教授)

所在地: 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学内

会長: 高木朗義

副会長: 田中 勲 (NPO法人G-net 副代表理事)

このページの投稿を検索

ビジター投稿

投稿を追加した人はまだいません。

投稿を作成

日本語 · English (US) · Español · Português (Brasil) · Français (France)

プライバシー · 規約 · 広告 · AdChoices · Cookie · その他 · Facebook © 2019

# 「ジモト大学」成果報告

## 大垣各地の運営者ら「サミット」

子どもたちに将来も地元  
に暮らし続ける魅力を知っ  
てもらおうと、県内各地で  
今夏から開校した「ジモト  
大学」が集まる「ジモト大  
学サミット」が一日、大垣  
市北方町の岐阜協立大で初  
めて開かれた。運営者らが  
意見を交わし、今後の活動  
の手掛かりを探った。

ジモト大学は、子どもた  
ちが大学進学などで地域の  
外に出て行く現状を踏ま  
え、地元での生活や仕事の  
良さを伝えようと山形県最  
上地方で始まった試み。飛  
騨地域、揖斐川町、関市の  
各地でも今夏から中高生ら  
を対象に講座を開いてお  
り、医師や菓子職人など多  
彩な大人が講師を務めた。  
サミットには各団体の関  
係者ら四十人が出席し、代  
表者がこれまでの成果や課

題を語った。取り組みの先  
駆けとなった山形県の新庄  
・最上ジモト大学は、担当  
する県職員の坂本健太郎さ  
んが報告し、高校生と商店  
街が協力して企画した短

編映画に触れて「高校生と  
大人が一緒に町をつくって  
いくことが始まっている」  
と活動の広がりを紹介し  
た。

そのほかの参加者らもグ  
ループに分かれ、運営態勢  
の構築や資金の確保など多  
彩なテーマで話し合った。

(山本拓海)



ジモト大学の今後について意見を交わす  
出席者ら＝大垣市北方町の岐阜協立大で

**8団体の取り組み  
ビデオ会議で紹介  
シモト大学サミット**

高校生に地元の魅力を知ってもらうため、昨年からは地域有志が県内各地で開催している「シモト大学」などが意見を交換する「シモト大学サミット2020



ビデオ会議で各団体の取り組み事例を紹介した「シモト大学サミット」(岐阜大)

0」が二十七日、ビデオ会議で開かれた。若者の県外流出に危機感を抱く地域住民らが立ち上げたのが「シモト大学」で、県内では飛騨、揖斐、

関の三つのシモト大学が活動。高校生が地元で働く人たちから話を聞く座談会や、地域の課題を解決するワークショップなどを行政や企業と連携して開催している。

一回目となるサミットでは大正大の浦崎太郎教授が基調講演し、高校生が興味のある分野を主体的に学ぶことを支援する大切さを強調した。続いて三つのシモト大学を含む県内外の八団体が取り組みを発表。新型

コロナの流行を受け、座談会や地域の景色をPRするプログラムをオンラインで開催していることを紹介した。

サミットを運営した岐阜大の高木朗義教授は「各団体の工夫を共有し、もっとシモト大学の活動が知られるきっかけになれば」と話した。(浜崎陽介)



29日  
(旧8月13日)  
日出 5:46  
日入 17:40  
月出 16:45  
月入 2:54  
月齢 11.7

各地のシモト大学の活動状況や今後の課題についてオンラインで意見交換する参加者(岐阜市御戸、岐阜大)



**高校生、地域発展へ意欲**

シモト大学 取り組み意見交換  
オンライン

高校生が、地域で活躍する大人から仕事観や生き方を学ぶ活動を行っている「シモト大学」の担当者が意見交換する「シモト大学サミット」が、オンラインで行われた。コロナ禍で活動が制限される中、飛騨、関の各シモト大学などが知恵を絞った取り組みを紹介した。

シモト大学は、若者の地域外流出に歯止めをかけるべく、山形県の最上地域で始まった活動。県内でも、昨

年からは県外有志が各地で立ち上げ、地域の高校生と大人を交流する座談会や職業体験などを実施している。

サミットは、地域の課題解決に向けた勉強会などを開く市町村団体「岐阜みらいカレッジ」(代表・高木朗義、岐阜大工学部教授)が開き、シモト大学の運営者や高校教員ら30人がビデオ会議システム「Zoom」を使って参加した。

飛騨シモト大学は、全国の高校生とオンライン会議を行い、各地の特産品を贈り合う企画「お中元プロジェクト」の成果を発表。高校生が「やってみたい」という意欲をボトトと述べていきたい」と話し

高木教授は「今後各地のシモト大学と地元の高校との連携をより強めていくことが大切」と語った。(田澤大)

# 全国高校生マイプロジェクト【マイプロ】

全国高校生マイプロジェクト | マイプロとは | みんなのマイプロ | マイプロをはじめる

## PARTNER IN JAPAN

あなたの近くにもある「マイプロ導入事例」

マイプロを導入している高校や団体が全国にあります。  
あなたの身近なところでも、マイプロが始まっているかも？

ただいま **29** 伴走 PARTNER


※一部を除く

北海道 東北 中部 関東 中国 関西 四国 九州 沖縄

マイプロは全国に広がっているよ！


全国の「マイプロ導入事例」を見る

# 清流の国ぎふ 防災・減災センター

 **岐阜県危機管理部**

- ・災害対応ノウハウ・災害情報蓄積
- ・市町村指導
- ・県民運動等啓発活動

+

 **岐阜大学地域減災研究センター**

- ・高度な教育機能
- ・高度な専門知識
- ・創造的、先進的調査研究機能

**人材育成・普及啓発**

防災・減災活動を担う人材の育成やその人材の活用等の仕組みづくり及び啓発活動

**技術支援**

行政及び企業からの求めに応じた防災・減災活動に対する助言その他技術的支援

**調査研究**

行政と研究機関が一体となった防災・減災に関する実践的調査研究、社会実験等の調査研究

**実践的シンクタンク機能**

- ・ 2015年4月1日に設立
- ・ 主な事業は人材育成・育成人材のネットワーク化・活躍の仕組み化



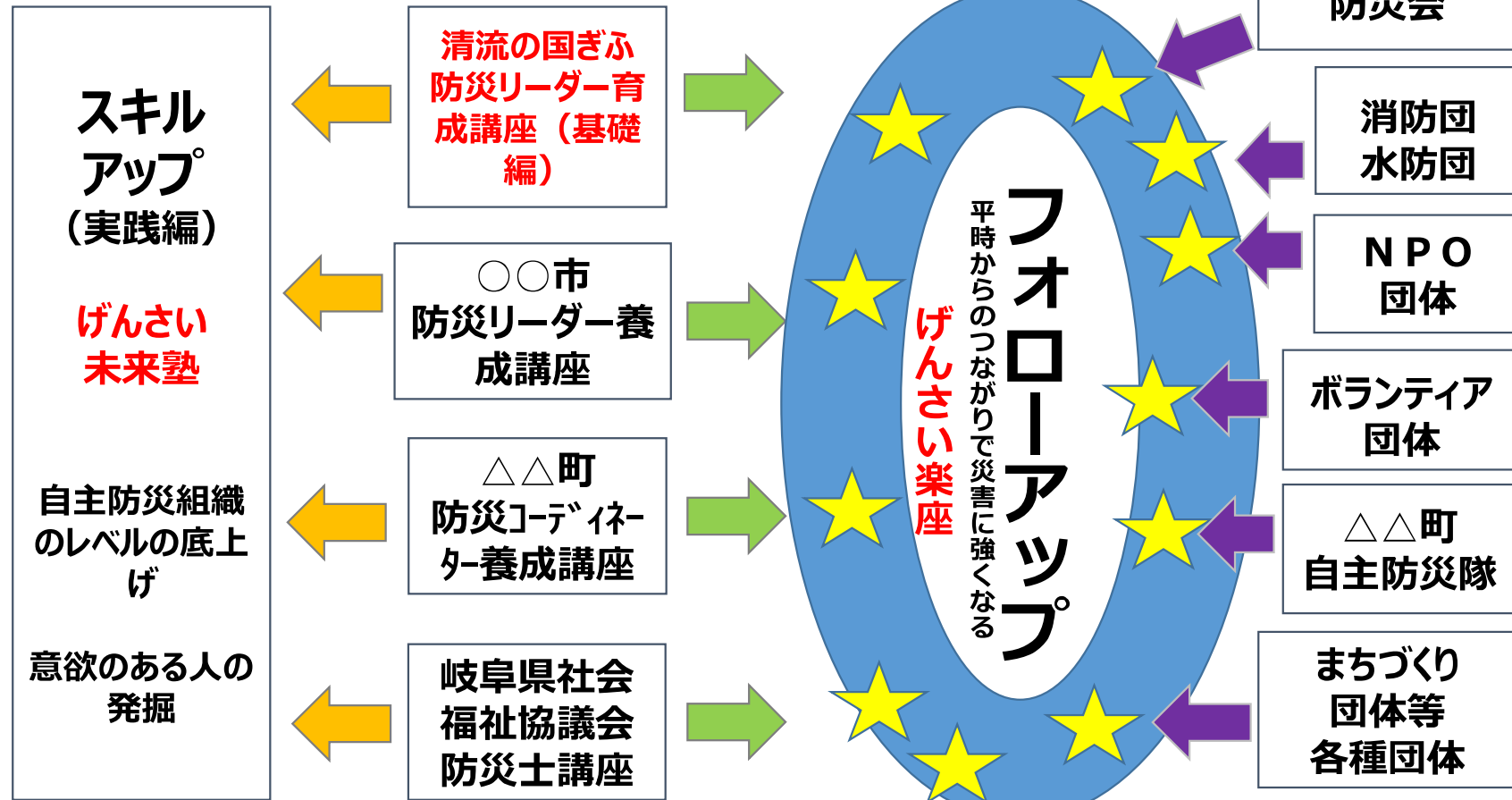


# 人材育成とネットワーク・仕組みづくり

地域で活動する  
ノウハウを学ぶ

基礎を学ぶ

防災・減災に関わる  
団体のネットワーク化



## げんさい未来塾卒塾生生活動リスト

岐阜県内で活動する“げんさい未来塾卒塾生”とその活動を紹介します。冊子です。



地域や学校などでの防災活動を行う際などに、

是非お声かけ下さい！

本リストに掲載されている方については、地域での活動相談や連携などウエルカムですので、もちろんお話したい！というだけでもOKです。

※掲載希望者のみのリストであり、げんさい未来塾卒塾生全員が含まれているわけではありません

清流の国ぎふ 防災・減災センター（以下「センター」）は、岐阜県と岐阜大学によって共同設立されたセンターです。センターの目的は地域防災力の強化に向けた人材の育成・連携、普及啓発事業の実施、技術支援および調査研究であり、「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座（基礎編）」をはじめとした、地域で防災・減災を主体的に担う事の出来る人材の育成に向けた研修プログラムの提供を行ってきています。

げんさい未来塾は「清流の国ぎふ防災リーダー育成講座（基礎編）」のステップアップ研修的な位置づけとなっており、地域防災・減災について主体的に担うことのできる人材を、実際の地域防災・減災の現場における実践を通じて育成するプログラムです。平成28年度より育成を始め、30名を超える人材が卒業して県内で活動しています

げんさい未来塾一期生



氏名 伊藤 みえこ  
伊藤 三枝子

主たる活動地域 大垣市・西濃地区

所属など 清流の国ぎふ 女性防災士会 会長  
清流の国ぎふ 防災減災センター  
コーディネーター

連絡先 jysai@ousai2017@yahoo.co.jp  
090-5119-4208

主な活動の対象者 ■一般 ■女性 □男性 ■子ども ■高齢者 ■自治会 □事業所 ■その他  
主な活動の役割 □講師補助 ■講演講師 ■運営講師 ■アドバイザー ■企画運営 □その他

活動実績のある地域 大垣市、岐阜市、関市、池田町、羽島市、揖斐川町、大野町、北方町、養老町、垂井町、各務原市、本巣市、豊田高橋沢市

活動実績  
学校防災力向上講座 講師  
大垣市岐阜地区防災士会研修会 講師  
羽島市防災研究会女性部フォローアップ研修会 講師  
本巣市乳幼児児童教育学級 講師  
聖市防災・減災勉強会 講師  
岐阜県腎臓病協議会西濃ブロック総会 講師  
災害時の子どものための心のケア 企画責任者  
大垣市4町合同防災訓練 アドバイザー  
地域課題解決型学習推進事業 講演補助  
池田こども園 家庭教育学級 講師  
東海圏防災研究 in岐阜 パネリスト  
コンソーシアムパネルディスカッション  
揖斐川町タウンミーティング 講師  
母難学級、子どもの命を守るのは… 講師  
他多数



氏名 伊藤 みちひろ  
伊藤 道廣

主たる活動地域 瑞浪市

所属など みずみみ防災会

連絡先 wideroad\_x@yahoo.co.jp

主な活動の対象者 ■一般 □女性 □男性 ■子ども □高齢者 ■自治会 ■事業所 □その他  
主な活動の役割 □講師補助 ■講演講師 ■運営講師 □アドバイザー ■企画運営 □その他

活動実績のある地域 瑞浪市、羽島市、多治見市、土岐市、川辺町

活動実績  
市内自治体防災訓練 運営  
市内幼稚園、小中高大学防災訓練、講演 講師  
瑞浪市防災講演会（毎年） 講師  
瑞浪市防災ミーティング主催（年2回程度） 講師  
瑞浪市ジュニア防災リーダー養成講座主催（毎年） 講師  
岐阜県東濃東部防災力強化ネットワーク会議開催（年3回）など

げんさい未来塾二期生



氏名 藤村 ゆうこ  
藤村 祐子

主たる活動地域 可児市

所属など 可児市防災の会

連絡先 info\_kantouna@gtg.comuifu.jp

主な活動の対象者 ■一般 ■女性 □男性 □子ども ■高齢者 ■自治会 □事業所 ■その他  
主な活動の役割 □講師補助 ■講演講師 □アドバイザー □企画運営 ■その他

活動実績のある地域 可児市、岐阜市、御嵩町、坂祝町、東海市、名古屋市

活動実績  
ファシリテーション講座 講師  
防災減災講座・トイレの備え 講師  
避難所運営責任者講習 講師補助  
女性目線での防災減災 参加者  
防災マカフェ アドバイザー  
クロスロード勉強会 講師  
避難所運営体験（土田自治会） 講師  
民生委員向け防災講座 運営  
遊んでぼうさい 講師  
救急救命普通講習 講師  
女性目線での防災講座 これだけは備えてね 講師  
台風が来る前に、気象の話 ファシリテーター  
女性目線での防災講座 講師  
液体ミルク勉強会 参加者  
岐阜県防災講座 気象庁ワークショップ ファシリテーター  
可児市防災リーダー養成講座 講師

げんさい未来塾三期生



氏名 藤井 よしひこ  
藤井 芳彦

主たる活動地域 岐阜市

所属など サークル「華陽わが街」

連絡先 w1.a1.n4.karajin@natau.ne.jp

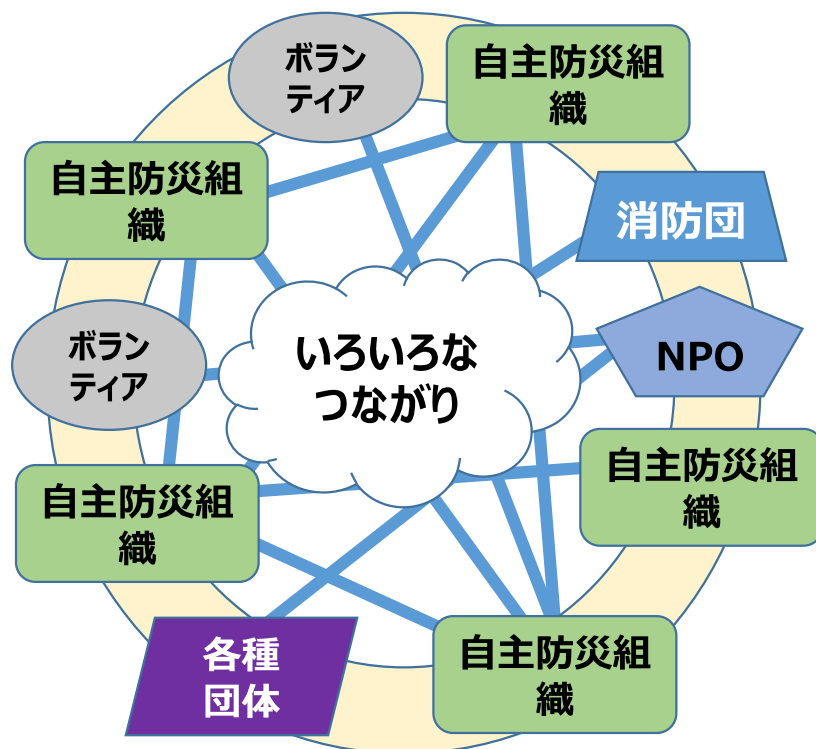
主な活動の対象者 ■一般 □女性 □男性 ■子ども ■高齢者 ■自治会 □事業所 ■その他  
主な活動の役割 □講師補助 ■講演講師 □アドバイザー ■企画運営 ■その他

活動実績のある地域 岐阜市

活動実績  
「華陽わが街」の防災勉強会 運営  
災害時トイレ 講師  
「災害被害者の人たちの寄りわり」 講師  
「お隣さんは災害時、無事ですか？」 講師  
「自分が強く防災」 ファシリテーター  
「まちを知るDIY」 講師  
華陽自治会 第4地区 防災訓練 講師  
華陽自治会 第6地区 防災訓練 講師  
華陽の避難所運営を考える（HUG） 講師  
避難所運営ゲーム（HUG） 講師  
「華陽わが街」の防災勉強会 運営  
避難所運営ゲーム（HUG） 講師  
公民館講座 避難所運営ゲーム（HUG） 講師  
華陽自治会 第5地区 防災訓練 講師  
他多数

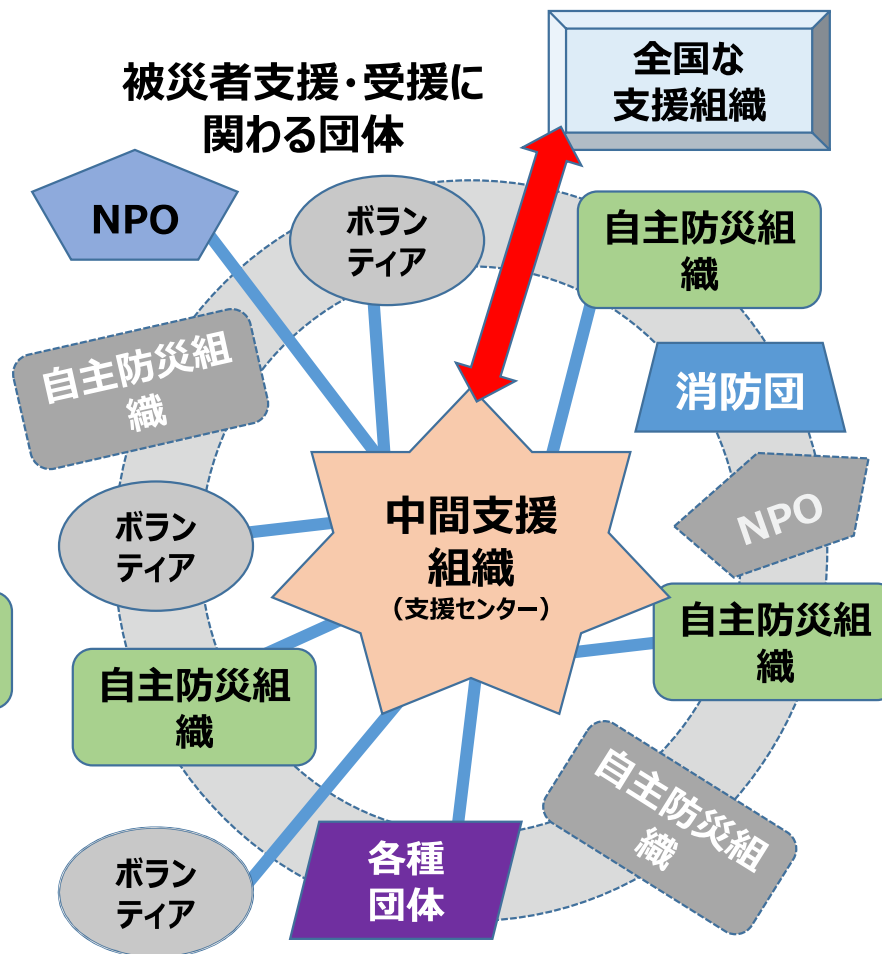
# 平常時の活動を災害時に活かす仕組み

防災・減災に関わる団体



平常時のつながり  
(ネットワーク・団体相互)

被災者支援・受援に関わる団体



大災害が発生した時のつながり  
被災して活動できない団体も出てくる

# 自主防災組織の活動は改善しているか？

- 🏀 自主防災組織は、市で育成した防災士を活かしているか？
  - 🍎 防災士と自主防災組織役員との対話はできているか？
  - 🍎 防災士と相談して、地域における防災訓練や防災活動を改善しているか？
- 🏀 自治会・消防団・水防団・PTA・子ども会・地域企業・NPO等、まち協メンバーが参画しているか？
  - 🍎 特に、消防団・水防団との対話はできているか？
  - 🍎 災害対応だけでなく、災害の備えを促進しているか？
- 🏀 市職員（防災支援員？）と連携しているか？
- 🏀 **地域防災力は向上しているか？**

# ポストコロナの防災訓練

🏈 **集まらない／参集しない防災訓練**

🏈 **集まる／参集する目的は？**

🍪 **参集が目的ではなく，人命安全確保が目的！**

👉 **地域で安否確認する必要があるのは参集できない人。**

🍪 **情報収集・共有にSNSを使おう！**

👉 **参集しなくても情報共有可能。これからの必修スキル！**

🏈 **共助の役割として自助の促進がある！**

🍪 **災害時対応だけでなく，事前の備え促進を！**

👉 **建物耐震化と家具固定なしで人的被害は減らない。**

👉 **風水害時に適切な避難をするためには，事前に避難方法・タイミングを決めるマイタイムラインの作成が必要。**

# 名工大 井戸田教授の簡易耐震化工法と推進策

どうして耐震改修をしないのですか？

家の下敷きになる前に  
逃げ出せるから

無理です！震度6弱以上では、立っていることが困難です。揺れて家が傾くと窓や扉は開かないままです。床には割れたガラスや食器の破片も散乱することでしょう。ほんとうに逃げられますか？

費用がかかるし、  
他にも使いたいものがあるし・・・  
面倒なことから逃れる言い訳にしていませんか？  
もう一度安心な暮らしについて考えてみてください。

もう歳だから死んでもいいです

ご家族も同じことを考えていらっしゃいますか？ お孫さんが遊びに来られているときに地震が来たら？ あなたの家が倒壊したら、ご近所に迷惑にはなりませんか？ 避難の妨げにはなりませんか？ あなたが死んででも戻す人はいませんか？

家が倒壊しても  
死ぬことはないと思う

なぜですか？ 木造住宅の2階と屋根の重量を合わせると数トン～十数トンの重量になります。これだけの重量が頭の上から降ってくるのに、死なないと考えられる理由は何でしょうか？

耐震なんて  
保険みたいなものでしょ

違います！ 生命保険に入っても病気にかかる可能性が減るわけではありませんが、耐震改修をすれば地震によって死ぬ可能性は確実に減ります。耐震改修はまさかのための保険ではなく、命のための確かなのです。

もうすぐ建て替えよう  
と思っているのですが・・・

大地震は待ってくれません。一刻も早く建て替えてください。

関連する内容の写真を動画も収録した「木造住宅の耐震リフォーム・デジタル資料集」も用意しています。  
本パンフレットと合わせてご利用ください。  
なお、デジタル資料集は <http://archi2.ace.nitech.ac.jp/dota2/index.html> からダウンロードすることもできます。

## 「木造住宅の耐震リフォーム」リンク集

- 【リスクで考える耐震リフォームのススメ ※パンフレットの補綴リンクです！】今すぐ改修！ それとも5年後？ あなたの家の全壊率もわかります。  
→<http://talsein-reform.net/>
- 【認知建築地盤災害軽減システム研究協議会】安心な耐震改修工法の情報が満載、部分合資制りの受託代行等もココ。  
→<http://www.sichi-gensai.jp/>
- 【内閣府 防災情報のページ】防災に関する基本政策と中央防災会議の紹介。東海地震対策、東南海・南海地震対策など公開。  
→<http://www.bousai.go.jp/>
- 【財団法人 日本建築防災協会】建築物の防災並びに維持管理制度、技術の開発・研究。「木造住宅の耐震診断と耐震補強」発行。  
→<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/>
- 【認知防災局】県内の災害情報、危機管理情報の提供、防災学習システム公開。  
→<http://www.pref.aichi.jp/bousai/>
- 【認知建築物地盤災害軽減協議会】無料耐震診断、耐震改修補助制度の案内、補助制度利用工事業者一覧。  
→<http://www.aichi-jishin.jp/>
- 【文部科学省 地震調査研究推進本部】地震に関する調査研究を政府として一元的に推進。震源情報、地震予測予知地図公開。  
→<http://www.jishin.go.jp/>
- 【地震対策・地震防災の総合情報 / j-bousai】地震対策や地震防災に関する総合的な情報を提供。  
→<http://j-bousai.com/>

## 家具の固定

- 自宅が倒壊を免れたら、あなたの衣類は東洋や近隣の方々の衣類です。家具で怪我をしてはなりません。正しい方法で家具の固定をしておきましょう。
- 【名古屋大学 理工学 家具転倒実験調査】さまざまな家具の地震時の挙動の調査。家具の固定方法も公開。  
→[http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/labof7/fall\\_furniture/gaiyou.html](http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/labof7/fall_furniture/gaiyou.html)
- 【東南海・南海地震に関する都道府県連絡会：まずは家から！ みんなで家具の転倒防止】  
転倒防止対策チェックシートを受けて、安全・安心の第一歩を！  
→<http://kagutenbouhoushi.jp>

【本パンフレットに関するお問い合わせ先】dota@nitech.ac.jp 発行：平成21年11月  
改訂：平成23年7月  
改訂：平成24年12月  
改訂：平成26年5月

## 木造住宅の耐震リフォーム

✓ **自主防災組織と建築士会が連携して耐震診断と耐震化を推進し、耐震化率が向上している地域が出てきている。**

✓ **耐震診断や耐震化の補助メニューがあるだけでは、耐震化率は向上しないので、住民へ積極的に働きかける必要がある。**

もつすぐやって来る大地震。古くなってきたマイホームが心配だけど、耐震リフォームってよくわからないし面倒そう。そんなあなたは、建築士さん、設計士さんと一緒にこのパンフレットを見ながら安心について考えてみてください。まずはステップ1へGo!

### 地震から家族を守る3つのステップ

- 1. 地震を知る**  
いつ来るのか、どこに来るのか、どれくらいの大きさなのか。誰を知らないとうまくもわかりません。まずは地震のことをもう少し考えましょう。
- 2. 自分の家の強さを知る**  
地震に打ち勝つ力がありますか？ 安心して暮らすにはどのくらいパワーアップすればよいですか？ 予算のこともありますね。がんばって目標を決めましょう。
- 3. 安心に向けて今すぐ実行**  
どんな工事をするのか。住みながら工事はできる？ リフォーム後の片寄せは？ 疑問点は今すぐ建築士に質問しましょう。それから家具の固定も忘れずに！

ステップ1へGo!



### 建築士、設計士の方へ

住宅にはどの程度の耐震性能が必要なのでしょうか？ この答えは、パンフレットは、耐震改修を希望する住宅所有者の方と建築士・設計士住宅の所有者が決めべき問題です。そのためには、建築のプロフェッショナルが地震のリスクと耐震性能の関係をわかりやすくかつ正確に作成しました。建築士・設計士と住宅所有者との信頼関係の構築、さらには建築現場に対する正しい理解を促めることに役立てば幸いです。

監修・制作：名古屋工業大学 建築・デザイン工学科 井戸田研究室 / 寺田研究室 / 名古屋大学 建築学コース 森研究室 / (株)スズキ建築研究所

# マイタイムライン「災害・避難カード」

私の避難タイミング					
気象情報	大雨に関する気象情報	注意報	警戒に切り替える可能性が高い注意報	警報	大雨特別警報
無被害の危険度分布		注意	警戒	非常に危険	極めて危険
水位情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報(避難判断参考水位)	氾濫発生情報
避難情報			レベル3 避難準備・高齢者等避難開始	レベル4 避難勧告	レベル5 避難指示(緊急)
	日中 夕暮れ時				

**①避難に必要な時間は？**

**A 安全な場所は？**

<確認してみましょう！>

- イエローの外
- レッドの外
- 氾濫区域の外

**B 安全な場所まで片道何分（通常時）？**

徒歩なら  分 / 車なら  分

**C 安全な場所まで片道何分（豪雨時）？**

徒歩なら  分 / 車なら  分 → 使用不可

**D 避難を決定してから家を出るまでに何分？**  分

**E 要支援者を支援するのに何分？**  分

**F 避難を決定してから安全な場所まで何分？**

徒歩なら  分 / 車なら  分 / 家雨時なら  分

(B+D+E)     (B+D+E)     (C+D+E)

**②誰と避難する？**

誰と？	連絡先は？

**③何を持って避難する？**

何を？	大きさは？	重さは？

[合計]

**私のまちの危険情報を知るには？**

**<気象情報>**

- 気象情報（注意報・警報等）を知るには？  
岐阜、気象台 検索 ⇒ 岐阜地方気象台 HP

**<警報の危険度分布>**

- 洪水や土砂災害等の危険度の高まりを知るには？  
岐阜、気象台 検索 ⇒ 岐阜地方気象台 HP

**<水位情報>**

- 津保川、小那比川の水位を知るには？  
川の水位情報 検索 ⇒ 川の水位情報 HP

**<避難情報>**

- 関市の避難情報を知るには？  
関市役所 検索 ⇒ 関市 HP「緊急情報」

**<その他>**

岐阜県地方気象台 (スマートフォン向け HP)

SEKI! gifu

関市役所 (スマートフォン向け HP)

岐阜県：災害・避難カード, <https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/bosai-taisaku/11115/saigaihinancards.html>

# アプリ 減災教室™

検索

減災教室

QRコードから



URLから

<http://gensaikyoushitsu.sakura.ne.jp/>



減災教室



# 減災教室

一般向け

編著：岐阜大学教授高木朗義 企画：一般社団法人 Do It Yourself 協力：岐阜県教育委員会

【一般向け2020.11】

まず回答 →  $\begin{matrix} \bigcirc & \triangle & \times \\ \text{個} & \times 5 = & \text{点} \\ \text{回答} & \text{合計} & \end{matrix}$  → 次に  $\begin{matrix} \bigcirc & \text{—} & \text{個} & \times 5 = & \text{—} & \text{点} \\ \triangle & \text{—} & \text{個} & \times 2 = & \text{—} & \text{点} \end{matrix}$  → 最後に やろうと思った項目の [いつやるか] に  $\bigcirc$  印で回答

地震から命を守る	Q 設問	○△×	いつやるか
	Q1	自宅や勤務地(または学校)周辺における地震の危険性をハザードマップで確かめていますか?	
Q2	自宅の耐震性は確保されていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q3	自宅をよく過ごす場所(寝室・居間・台所)の家具は転倒防止されていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q4	重い家具や本棚が倒れてこない所、照明やガラスが割れて落ちてこない所に、自分や家族は寝ていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q5	揺れた瞬間や緊急地震速報が流れた際、頭を中心に身を守る動作を取っていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q6	海の近くに出かけて(暮らして)大きな揺れがあった際、誰も避難してなくても、率先して高台に避難できますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
地震直後の対応	Q7	災害時でも使えるように、携帯電話やスマートフォンのバッテリーを常に持ち歩いていますか?	今 1 1 1 日 週 か 年
	Q8	電気・ガス・水道が使えなくても、家族は1週間くらい食べられますか?	今 1 1 1 日 週 か 年
	Q9	停電しても、1週間くらい灯りと暖房を維持できますか?	今 1 1 1 日 週 か 年
	Q10	家族が別々の場所で地震にあった場合の連絡方法や集合場所など、地震対策について、家族で話し合っていますか?	今 1 1 1 日 週 か 年

風水害・土砂災害から命を守る情報収集や判断	Q 設問	○△×	いつやるか
	Q11	自宅や勤務地(または学校)周辺における風水害や土砂災害の危険箇所をハザードマップで確かめていますか?	
Q12	自宅や勤務地(または学校)周辺における風水害や土砂災害の危険箇所を自分の目で確かめていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q13	水平避難・垂直避難・待避を理解した上で、風水害や土砂災害が発生しそうな時の一時的な避難場所と避難方法を決めていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q14	行政の避難情報にかかわらず、自分や家族で避難を判断するために、降雨状況や河川水位などの情報を自ら見えていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q15	道路が浸水しており、一時的な避難場所へ移動する方が危険な場合、自宅などで過ごす準備ができていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
Q16	風水害や土砂災害の対策について、家族で話し合っていますか?		今 1 1 1 日 週 か 年
災害から命を守る近所づきあい	Q17	自治会(町内会)や子ども会、地域の清掃や運動会など、普段から地域活動に参加していますか?	今 1 1 1 日 週 か 年
	Q18	災害時対応や事前の備えについて、地域や近所の人と話し合っていますか?	今 1 1 1 日 週 か 年
	Q19	近所で災害時に助けが必要な人を知っていますか?	今 1 1 1 日 週 か 年
	Q20	地域の防災訓練に、いつも参加していますか?	今 1 1 1 日 週 か 年

印刷・複写してご活用ください。※無断改竄はご遠慮ください。

© 2015 岐阜大学教授高木朗義 & 一般社団法人 Do It Yourself

# 自助・共助・公助 + 「業助」



# 災害への備えの現状と理由

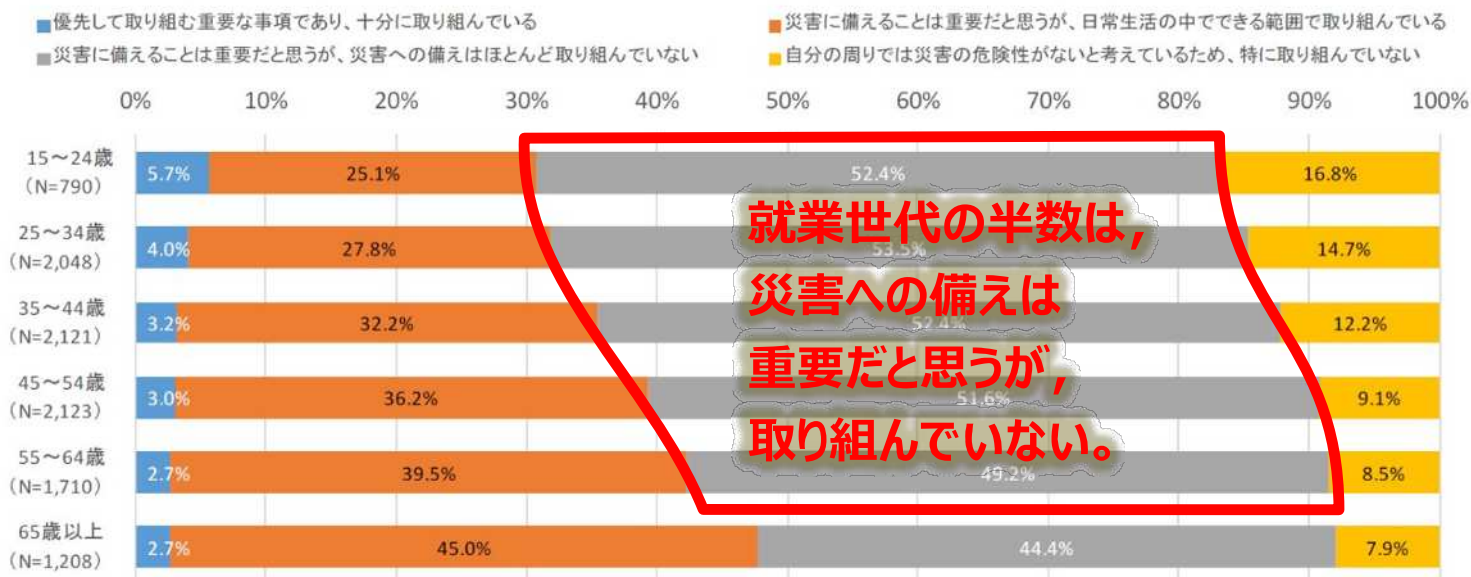


図1 災害への備えの重要度【年齢階層別】

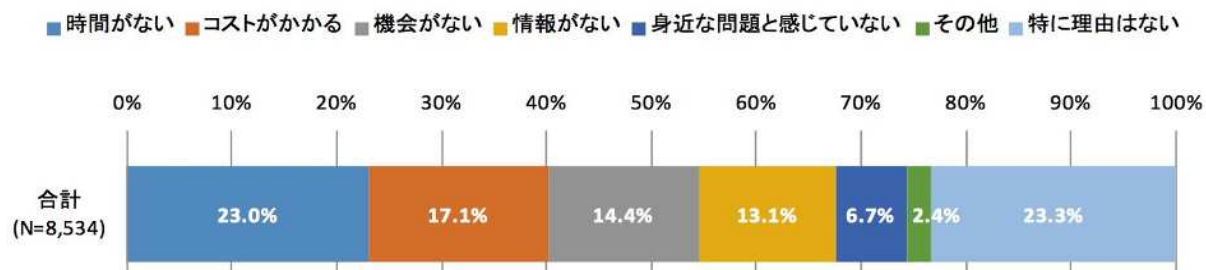


図2 災害危険度の認識に応じた災害対策に取り組まない理由

## 災害対策に取り組まない理由

- ・時間がない
- ・コストがかかる
- ・機会がない
- ・情報がない

# 日常的に意思疎通を行っている人

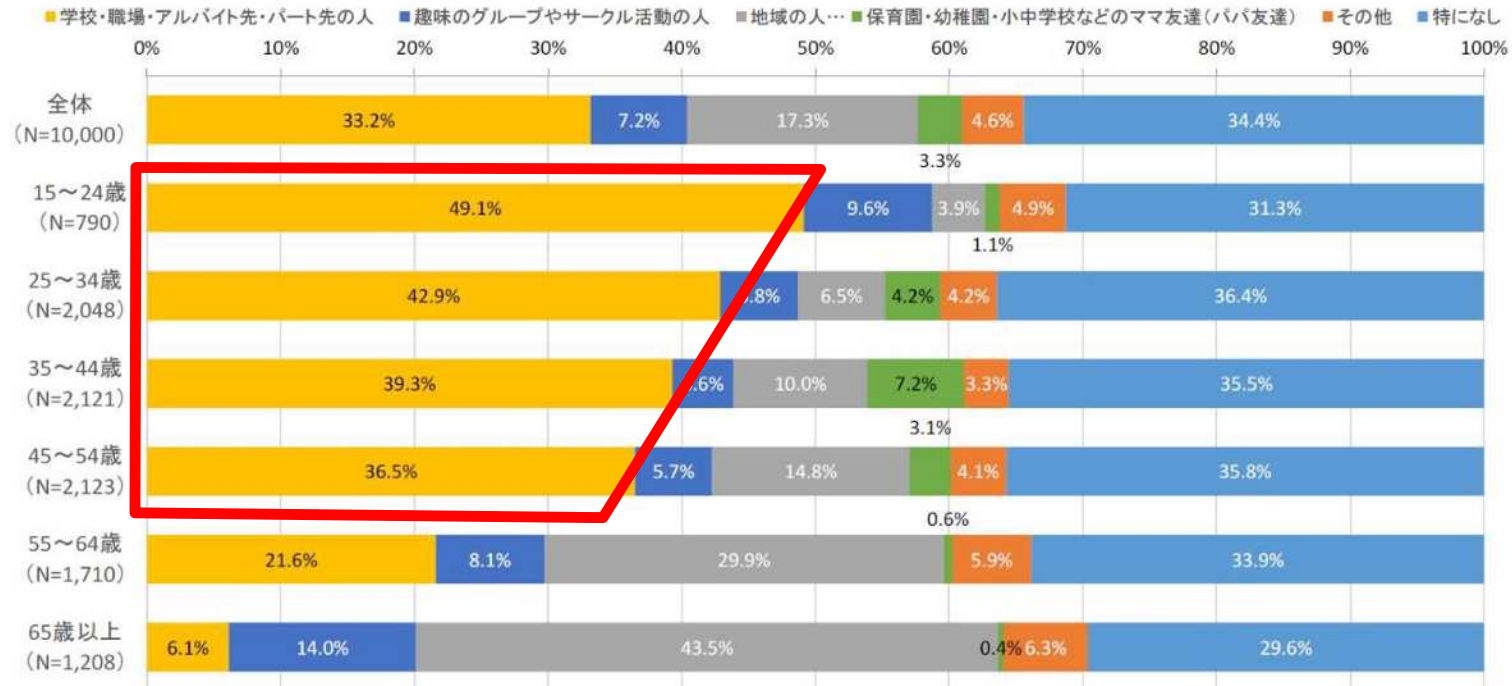


図3 もっとも日常的に意思疎通を行っている人【年齢階層別】

就業世代の殆どがもっとも  
日常的に意思疎通を行っている人

**= 職場の人**  
(地域の人ではない)

# BCP（事業継続計画）と防災・減災

中小企業庁の事業継続力強化計画策定の手引きに記載されている「人命確保」に関する記載例

記載例

項目	初動対応の内容	発災後の対応時期	事前対策の内容
1 人命の安全確保	<u>従業員の避難方法</u>	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社拠点内の安全エリアの設定</li> <li>・ 社内の避難経路の周知・確認</li> <li>・ 避難所までの経路確認</li> </ul>
	<u>従業員の安否確認</u>	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安否確認システムの導入</li> <li>・ 従業員の連絡網の整備 (携帯電話番号、メールアドレス、SNS等)</li> </ul>
	生産設備の緊急停止方法	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時の機器停止手順の周知・確認</li> </ul>
	顧客への対応方法	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顧客の避難場所の周知、誘導體制の確立</li> </ul>

「人命確保」の記載例として、社内にいる従業員の避難や安否確認等はあるが、**自宅にいる従業員の人命確保（災害への備えの促進等）は挙げられていない**

# もし大規模災害が発生したら？

- ① BCPの観点としても、企業として重要な経営資源である人的資源（社員・職員）の災害の備えを促進することが有効ではないか？
- ① もし自宅が被災、あるいは、自分や家族がケガ等してしまった場合、業務に携わることができるでしょうか？
- ① 自宅に家族を残したまま、業務を行うことができるでしょうか？
- ① 社員や職員が被災しなければ、業務への支障も最小限に抑えられるのではないのでしょうか？
- ① **企業が社員・職員の災害への備えを促進することは、企業にとっても有効であり、社会全体としても効果があり、地域社会的にも取り組むメリットがあるのではないか？**

## 「業助」という新しい概念を岐阜から発信する

- ① 防災は「自助」「共助（互助，近助）」「公助」が必要なことは理解が進んでいますが，企業の防災・減災の取り組みを「業助」と呼び，社会的に位置付けて，展開してはどうか？
- ① 「業助」とは，企業や団体が業務，あるいはCSR（企業の社会的責任）として，防災・減災に取り組むこと。
- ① もちろん，防災・減災に取り組んでいる企業や団体が既に多く存在していることは十分承知しています。
- ① 加えて，SDGsが目指す「誰一人取り残さない」にも通じると思います。
- ① この「業助」という概念で，企業や団体の防災・減災への取り組みを促進してはどうか？
- ① 岐阜版アダプト・プログラムに防災を明示化

# 減災教室

## 組織防災やBCPに活かしませんか？

※用意するもの

- WEBサイトにアクセスできるスマートフォンやパソコン（個人あるいは組織として1台あれば大丈夫です）
- 担当者が事前にアプリ管理者（岐阜大学内）にメールで問い合わせ（E-mail: [ceip-bosai@gifu-u.ac.jp](mailto:ceip-bosai@gifu-u.ac.jp)）



- ・職員や家庭の災害への備えは、組織として強制できない。
- ・職員や家庭が被害を受けると、組織の機能は低下する。
- ・物資の用意以外に、何を促せば良いのかわからない。
- ・何かをするなら、成果が見えないと続けられない。

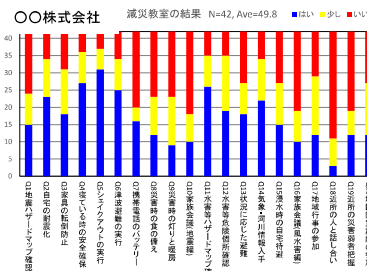
### 減災教室の効能

- ★宿題として「減災教室」をするだけでも、行動を促す効果が期待できる。
- ★職員（組織）の現状課題を把握することで、限られた時間で何に取り組むか参考になる。
- ★部署や職員の番号を入力することで、グループでの集計や改善評価ができる。

スマートフォンまたはパソコンで、  
 ①「減災教室」で検索、②右のQRコード、  
 ③下のURLからアクセス  
<http://gensaikyoushitsu.sakura.ne.jp/>



「紹介者ID」に組織名を入力  
 ※事前にご連絡ください（[ceip-bosai@gifu-u.ac.jp](mailto:ceip-bosai@gifu-u.ac.jp)）



集計データ  
 !有償提供中!

➤データを集計して  
 グラフ化



➤組織としての課題  
 と解決策を提案

- ✓実施率が低いQ10とQ16「家族会議」の100%実施を目標としてはいかがでしょうか？  
 ⇒啓発・行動促進のための掲示が必要です。
- ✓半年に1回程度定期的に減災教室を実施することをおすすめします。

- ①組織として課題を共有  
 例えば、回覧、チラシ、集会、勉強会など
- ②組織として防災行動を促進  
 例えば、Q11~13を課題として、自分の住む地区のハザードマップや危険箇所の確認を促すような、任意参加の宿題を出す。
- ③一定期間後に再テストを実施  
 効果把握と共に、改善策や次の課題を検討する。



子供から大人まで  
どこでも誰とでも  
一緒に学びながら  
まちづくり・防災

## 例えば，まちづくり協議会・自治会として・・・

- 🏆 デジタル担当・チームの設置
- 🏆 カイゼン担当・チームの設置
- 🏆 中高生を役員として参画
- 🏆 防災士・消防団と協働した防災訓練の見直し・平常時の防災活動の推進



お・し・ま・い